

Japan Geoscience Union Meeting 2011

(May 22-27 2011 at Makuhari, Chiba, Japan)

©2011. Japan Geoscience Union. All Rights Reserved.



PPS024-P15

会場:コンベンションホール

時間:5月22日 14:00-16:30

月レーザ測距地上局用シーイング測定装置 (DIMM) の開発 Development of the Deferential Image Motion Monitor (DIMM) for Lunar Laser Ranging station

田澤 誠一^{1*}, 野田 寛大¹, 荒木 博志¹, 國森 裕生²
Seiichi Tazawa^{1*}, Hiroতোমo Noda¹, Hiroshi Araki¹, Hiroo Kunimori²

¹ 自然科学研究機構国立天文台, ² 情報通信研究機構
¹NAOJ, ²NICT

我々は月着陸ミッション SELENE-2 に向け、月レーザ測距 (LLR) を提案している。当面は既存 SLR 局 (小金井) を改修し、LLR 地上局から月面上のレーザ反射板までの距離測定が可能となるよう目指している。LLR では大気揺らぎの影響が大きいため、観測時はシーイング観測を行うことで、観測データの信頼性向上に努める必要がある。シーイング観測は一般的に Deferential Image Motion Monitor (DIMM) によって行われている。本発表では LLR 地上局用に新たに製作する DIMM の開発状況について報告する。

キーワード: 月レーザ測距, シーイングモニター
Keywords: LLR, SELENE-2, DIMM